

事業所名	蓮の実団地グループホーム			
開催日時	令和8年2月27日（金） 午前10：00 ～ 午前11：40			
開催場所	蓮の実団地・蓮の実園会議室			
出席者	構成員	人数	構成員	人数
	蓮の実団地利用者	1名	福祉に知見のある人	1名
	蓮の実団地利用者家族	2名	市町村担当者等	1名
	地域の関係者	3名	事業所職員	0名
	（行政区区長、民生委員）		欠席：	1名
議 題	① 理事長挨拶 ②施設長挨拶 ③構成員紹介 ④報告及び議事 ア.各事業所の状況報告 イ.意見交換 ⑤グループホーム見学			
協議内容 意見等	①理事長挨拶 ②施設長挨拶 ③構成員紹介 ④報告及び議事 (1) 各事業所の状況報告 各グループホームの現状についてパワーポイントを使って報告する。 令和8年2月時点で定員55名のうち51名が利用されている。年齢は20代から70代まで幅広く、50代以上が半数を占めている。障害支援区分の平均は2.94で入所施設利用基準より低いものの、24名が50代以上の施設入所利用可能な区分3以上である。 利用者の就労状況については、約半数が法人外の事業所や一般企業で就労をしており、八安市近郊の企業に就職されている。入居前の居住地は八安市近郊が多いが、県外からの方も数名おり、遠方になると宮崎市や香川県高松市の方もいる。 ほうれん荘(平成8年4月開所)、第5ほうれん荘(平成24年開所)、第6ほうれん荘(平成24年開所)、第7ほうれん荘(平成28年開所・第3ほうれん荘は平成15年11月開所)、秋桜(平成16年開所・第2秋桜は令和7年開所)、第10ほうれん荘(平成30年開所)の概要を説明する。 (2)意見交換 意見交換では、家族から高齢化に伴う介護保険への移行について相談あり。最近の事例として、60代の利用者が筋力低下により高齢者施設に移行した件を紹介し、65歳以降の介護保険優先の課題やその場合の施設としての対応について説明を行った。 BCP(業務継続計画)訓練として年1回の避難訓練や感染症対策が義務化されていることが説明されると、地域住民からも協力の申し出があった。 後見人制度については、親なき後の問題として、実際に成年後見業務を行われている方から、後見人の役割等について詳しい説明があった。 若い利用者の社会参加については、家族から知的能力は小学校3年生程度ながら、やりたいことや友達作りや結婚への願望があること、本人にとっては地域イベントへの参加が精神的安定に重要であるとの話があった。 以上			